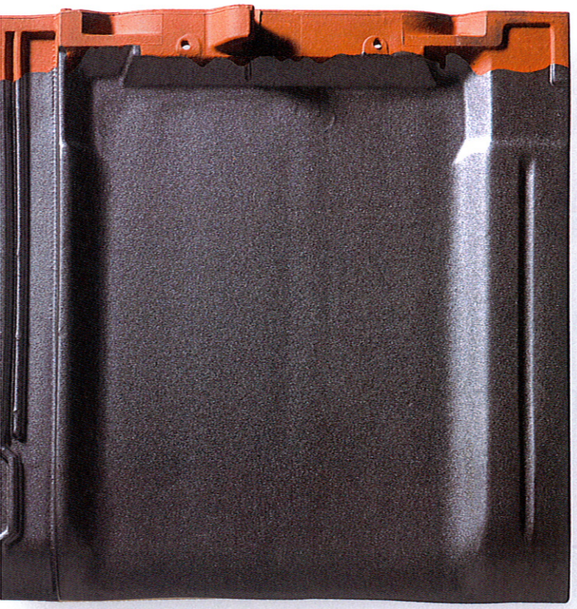
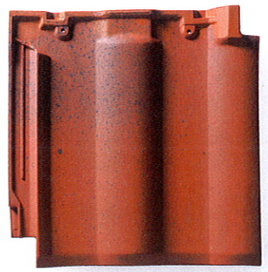
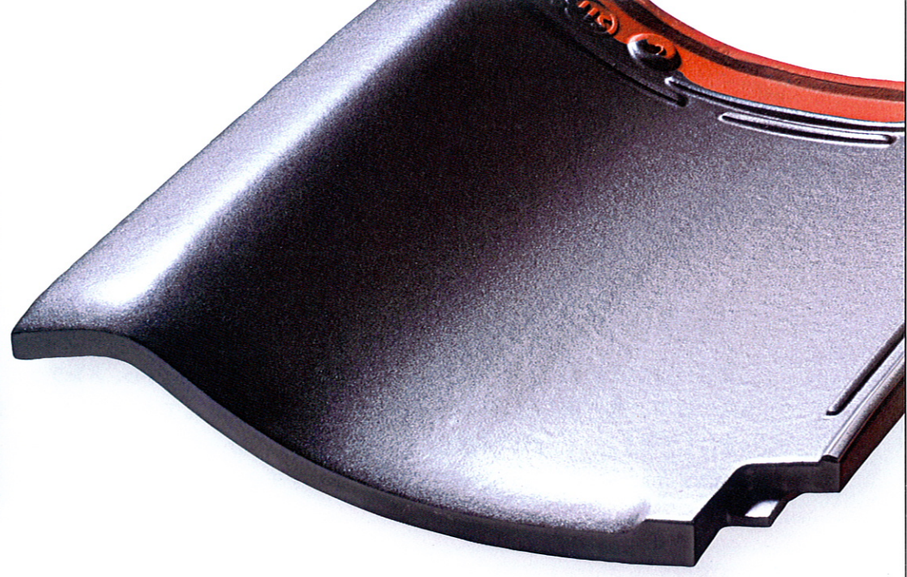
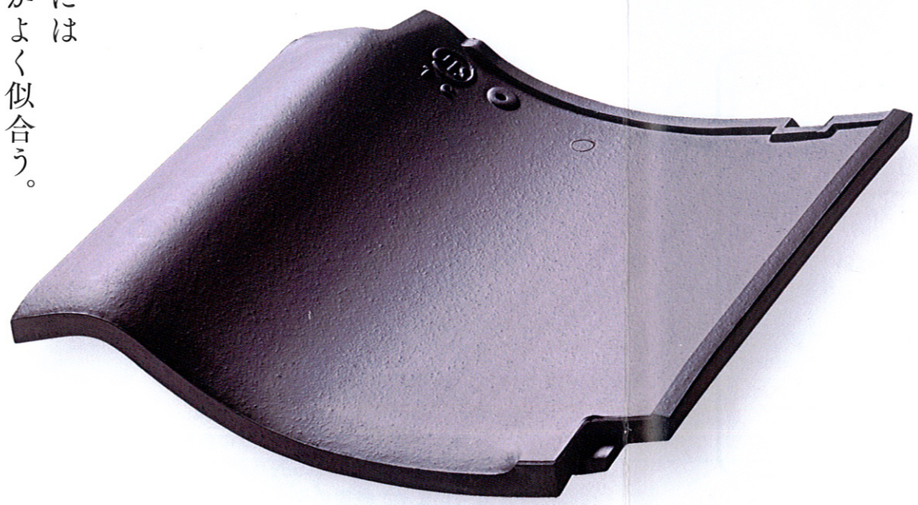




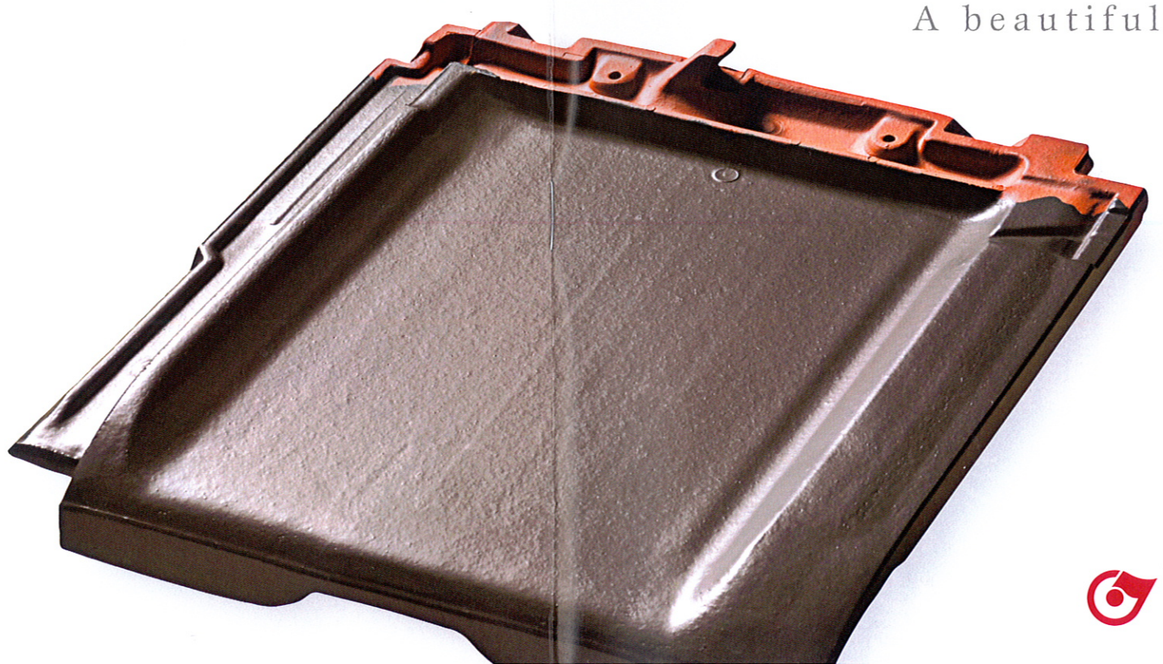


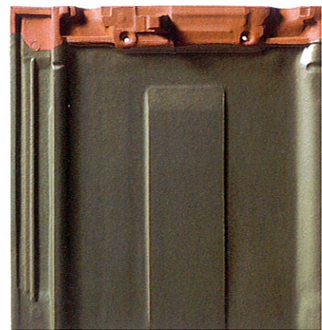
この国には
三州瓦がよく似合う。



三州瓦
リフォーム
BOOKs

A beautiful roof in Japan





葺き替えのご相談は

屋根工事業 兎勝

代表者 岩見勝由

〒518-0752 三重県名張市蔵持町原出581番地
TEL 0595-61-2204
FAX 0595-62-0250

愛知県陶器瓦工業組合
〒444-1323 愛知県高浜市田戸町1-1-1
TEL 0566-52-1200(代) FAX 0566-52-1203 http://www.kawara.gr.jp/

人にやさしい 三州瓦

一富士、二鷹、三州瓦。We Love

こんな症状を見つけたら要注意！

屋根のチェックポイントあれこれ

“屋根をチェックしてみましょう”

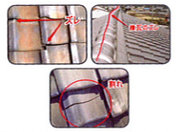
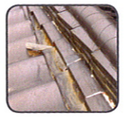
屋根はなかなか普段の生活のなかで目に入らないところ。だから、メンテナンスや修理、葺き替えという発想につながりにくいですよね。でも、気付かないままにしておくと、「しまった！早めに対応しておけばよかった」という事態になりかねません。そんなことになる前に、一度屋根をチェックしてみましょう。

屋根の修理は、早い段階で発見すれば大きな修理工事にならなくて済みます

6つの項目を今すぐチェック！

Check sheet 《判断の目安は右ページを参考にして下さい》

○印をつけて下さい

Check 1 瓦の割れ・ズレ・曲がり		ない	ある	Check 2 棟部分の漆喰にハガレ		ない	ある
Check 3 天井にシミ・雨漏り		ない	ある	Check 4 平成13年以前に建てた家である		はい	いいえ
Check 5 屋根の色褪せ、変色、サビ		ない	ある	Check 6 雨音や夏の暑さ		気にならない	気になる

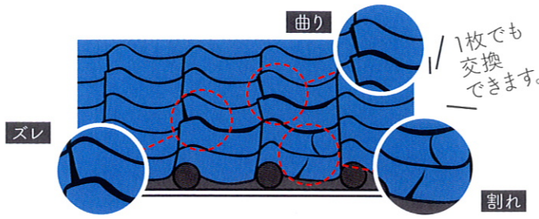
自己診断結果　○印の数を記入して下さい

A beautiful roof in Japan

日本の屋根は美しい。

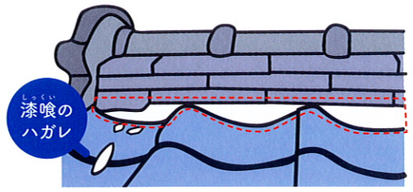
Check 1 屋根瓦に割れ・ズレ・曲りがある。

瓦の割れやズレ曲りは雨がしみて雨漏りの原因に。雨漏りしてしまうと屋根の野地板など下地や構造が腐食し、住宅の寿命が下がります。



Check 2 棟部分の漆喰にハガレがある。

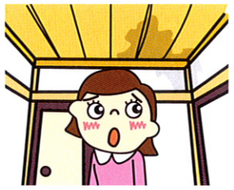
屋根の棟部分の白い部分を漆喰といいます。漆喰がはがれるとそこから雨がしみて雨漏りの原因に。構造体が腐食し住宅によくありません。



Check 3 天井にシミがある。雨漏りしたことがある。

屋根が原因となって雨漏りする場合があります。雨漏りしていると、住宅の構造体の腐食に繋がります。早めの修理が必要です。

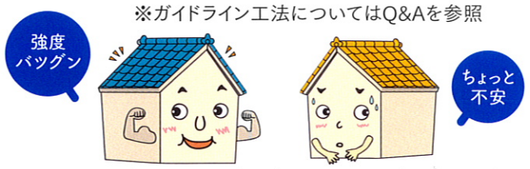
※雨漏りは壁際などが要注意。



Check 4 平成13年以前に建てた家である

古い工法の可能性があります。瓦業界で推奨する「ガイドライン工法」が確立されたのが平成13年8月です。それ以前は、各地域で昔ながらに行われている工法（土葺きなど）が主流でした。旧工法の場合、巨大地震での破損も心配されますので、最新のガイドライン工法による補修をお勧めします。

※ガイドライン工法についてはQ&Aを参照

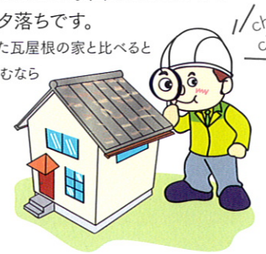


新工法（ガイドライン工法）　古い工法（土葺きなど）

Check 5 屋根が色褪せ、変色、サビがでている。

厚型スレート屋根や化粧スレート屋根の色褪せ・カビ・こけ、金属屋根のサビなどをチェックしてください。厚型ストレートや化粧スレート、金属は、瓦（粘土瓦）に比べて耐久性が低いため、一般的に新築後15～30年で不具合が発生します。雨漏りなどの原因になるばかりでなく、見栄えはガタ落ちです。

※同時期に建てられた瓦屋根の家と比べると雲泥の差です。長く住むなら見栄えは大事です。



Check 6 屋根を打つ雨音や夏の暑さが気になる。

金属屋根の場合は雨が降ると、かなり気になる騒音が発生します。瓦屋根と比較すると一目瞭然です。また、金属・セメント・化粧スレートは、粘土瓦と比べて断熱性が低いため、真夏の2階の部屋はかなり高温になります。

※スレートや金属などの屋根材から瓦へ葺き替える場合は、住宅の構造に注意が必要です。専門家にご相談ください。

なぜ三州瓦が選ばれるのでしょうか

表現力

選ばれる理由1 reason
さまざまな形や色があるから個性に合わせて選べる

屋根は建物の外観の大きなポイントです。個性に合わせてこだわりたいものです。三州瓦は、焼き物ならではの風合いや素材感で暖かみや高級感を醸し出し、さまざまな形や色合いがそろっています。そのため、本格的な純和風の住宅だけでなく、モダンな洋風住宅にも拡く対応。このような豊富なバリエーションから、個性に合わせてチョイスできることが、三州瓦が選ばれる理由のひとつです。

Variation

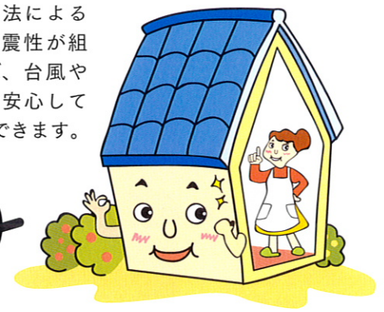
防災

選ばれる理由2 reason
万一の台風や地震も防災性が高いから安心

どうせ葺き替えるなら安心な屋根が良い。そんな方が三州瓦を選んでいます。三州瓦の高い防災機能に加えてガイドライン工法による高い耐風、耐震性が組み合わされば、台風や巨大地震まで安心して暮らすことができます。

ガイドライン工法が確立された H13 年以降、飛躍的に耐震強度が向上しました。

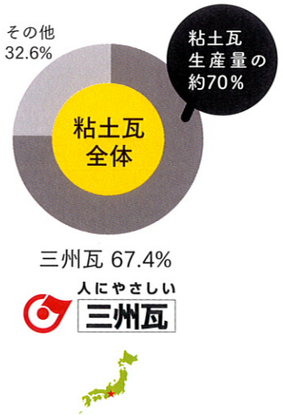
震度7クラスの地震にもたえられます



信頼

選ばれる理由4 reason
日本一の生産量だから信頼性が高い

愛知県の三州（三河）は、江戸時代から瓦の産地として有名で、現在では全国の粘土瓦生産量の約 70％を占める最大産地となっています。この生産量が、いつの時代も変わらぬ信頼性を証明しています。また「三州瓦」は特許庁の地域ブランドに第１弾の登録で認定されました。



エコ&快適

選ばれる理由3 reason
真夏は涼しいだから節電できる

粘土瓦自体の高い断熱性に加えて、瓦と屋根面の間に空気層があるので、他の屋根材に比べて瓦屋根は、真夏は涼しく快適。節電効果も期待できます。こんなエコで快適な特長も三州瓦が選ばれる理由のひとつです。

瓦屋根は夏涼しくて冬暖かいんです

伝統美

選ばれる理由5 reason
日本の屋根を継承する伝統から生まれた美しさがある

和の文化が世界で見直されてきています。三州瓦は、日本の屋根の伝統文化を継承しながら、機能的に進化してきた瓦で、国宝クラスの神社仏閣の修復にも使われています。

歌舞伎座

平等院鳳凰堂

一富士.
二鷹.
三州瓦.
We Love

だから私は三州瓦を選びました

Construction cases

1 厚型スレート→洋瓦〔フラットタイプ〕

K様邸

塗り替え不要で風に強い瓦は長い目で見ると経済的で安心ですね。

割れやヒビ、色褪せ、雨漏りなど、新築後30年くらいから屋根の不具合が気になりはじめました。震災で被害を受けた影響で雨漏りはさらにひどくなりました。だから、どうせ葺き替えるなら色褪せしなくて風雨・地震に強い屋根にしたかったんです。工事店の方の仕事が丁寧で感謝しています。
とても満足です。

Reform DATA

建　　物／築46年
工事期間／約1週間

「Before」

Check Point

▶厚型スレート（セメント屋根）のため色褪せは早くからありましたが、割れやヒビ、雨漏りなど築後30年頃から特に不具合が気になり始めました。
▶高い見積もりで施工技術の不安な悪質商法を行なう業者もいるため、地元に密着した信頼できる工事店が安心です。

「After」

Construction cases

2 厚型スレート→洋瓦〔フラットタイプ〕

S様邸

きっかけは雨漏り。葺き替えるなら地震に強い屋根にしたかった。

最近になり雨漏りし始めました。当初は、そこだけ直そうと思ったのですが、よく知っている瓦屋さんに相談したら、また同じようなことになるため全部葺き替えた方がいいとのことでした。地震などの災害にも強い屋根材にしたかったということもあり、瓦にしました。フラット型の瓦なので外観もとても良くなったと満足しています。
他の方にもお勧めしたいくらいです。

Reform DATA

建　　物／築39年
工事期間／約1週間

「Before」

Check Point

▶厚型スレート（セメント屋根）は、瓦に比べて色褪せや雨漏りの性能が低いため、部分修理してもまた同じようなトラブルが近い将来発生します。
▶フラットタイプの洋瓦は、建物がシャープに際立ち、洗練された印象が特長です。

「After」

Construction cases

3 厚型スレート→和瓦

N様邸

雪が多い地域なので、耐久性があって手がかからないことが決め手でした。

大雪による厚型スレート屋根のシミや割れが特に気になりだしたのは10年ほど前からです。今回瓦屋根に葺き替えた理由は、雪が多く降る地域なので、耐久性があって手がかからないことが決め手でした。また、冬場の保温性や梅雨時の遮音性も決め手となりました。和瓦はとても風格があって見栄えがよく、見違えるようです。

Reform DATA

建　　物／築50年
工事期間／約10日間

「Before」

Check Point

▶瓦は、他の屋根材に比べて耐久性が高く、メンテナンスフリーなので、長い目で見るとコストパフォーマンスの良い屋根材です。
▶雪が多くて寒い地域は、保温性のある瓦なら、暖房費の省エネ効果も期待できます。雨音も気になりません。

「After」

Construction cases

4 古い和瓦→和瓦

O様邸

災害に強く、塗り替え不要の屋根で長く安心して暮らしたい。

東日本大震災で瓦が落ち雨漏りがひどい状況でした。しかし先に葺き替えていた別棟は、震災でもビクともせず被害に遭わなかったため、最新工法による三州瓦の葺き替えに決めました。とても落ち着いた雰囲気で堂々としていて、とても気に入っています。地震があっても安心できると思います。瓦の魅力は色褪せせず塗替えもいらないので、長い間安心して生活できることだと思います。

Reform DATA

建　　物／築63年
工事期間／約1ヶ月

「Before」

Check Point

▶平成7年の阪神大震災を契機に策定された災害に強いガイドライン工法を採用しているため、従来工法に比べて格段に耐震性が高くなっています。
▶瓦は、お茶碗などと同じ「焼きもの」なので、色褪せることがありません。塗り替えは不要で、時を重ねるほどに風合いが増していきます。

「After」

Y様邸

5 和瓦→洋瓦〔フルフラットタイプ〕

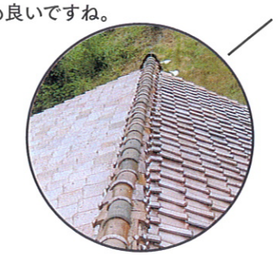
**いろんな色やデザインから
選べるっていいですね。
見た目にもこだわりたいですから。**

震災後から天井にシミが見られるようになりました。雨漏りですね。新築から40年くらい経っていました。今回屋根のリフォームで三州瓦に決めた理由は、いろんな色やデザインが選べたから。葺き替え前は和瓦でしたが、洋風のフルフラットタイプにしてみました。とてもスッキリして見た目もよく気に入っています。割れやズレが無ければノーメンテナンスでOKというところも良いですね。

Check Point
- ▶屋根は外観のイメージを左右する大きなポイント。三州瓦なら形や色など、豊富なバリエーションから個性に合わせて選ぶことができます。
- ▶瓦は基本的にノーメンテナンスです。再塗装も不要です。

Reform DATA

建　　物／築43年
工事期間／約3日間



「Before」

「After」

S様邸

6 化粧スレート→洋瓦

**悪くなった外観が見違えるようになり、
知人や隣人にステキだと言われます。**

新築して15年程で、化粧スレートの屋根に褪色やコケの付着が目立ちだし外観が見苦しくなってきたんです。そこで色褪せの心配がない三州瓦を選ぶことにしました。色やデザインが豊富なことも魅力でした。葺き替え後は見違えるようになり、知人や隣人に“ステキだね”と言われました。また最新の瓦(工法)は地震に強いのも魅力の一つです。

Check Point
- ▶スレート屋根は、瓦に比べて表面劣化が非常に早いことを覚えておきましょう。
- ▶信頼できる屋根工事店選びも重要です。アフターケアの安心できる業者を選びましょう。

Reform DATA

建　　物／築26年
工事期間／約1週間

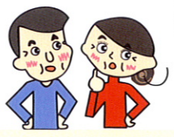
「Before」

「After」

pick up

巨大地震に備えて

棟部の耐震補強で屋根の被害を防止しましょう。



東日本大震災では、とりわけ瓦屋根の棟部に被害が集中しました。しかし、被害にあった棟は、土で固定された旧来の工法によるものでした。屋根の被害を予防するために、お勧めしたいのが「棟耐震補強」です。既存棟を再利用することで、スピード施工で、低コスト施工を実現します。

※「棟」とは、のし瓦を積み上げた屋根の一番高い部分のことです。

早い

【スピード施工】
既存棟を撤去しないので工期が短縮できます

安い

【低コスト施工】
既存棟を再利用することでコストを削減できます

既存棟のモデル（切妻屋根と寄棟屋根）に耐震補強を施し阪神淡路大震災と同じ震度7で耐震性の実験をした結果、耐震補強した棟部は、崩壊や瓦の脱落はありませんでした。

※既存棟耐震補強工法は、減災のための工法です。巨大地震により棟瓦にズレや破損が生じる場合もあります。

ガイドライン工法による棟部の葺き直しを行えばさらに耐震性がアップします。

耐震補強工法 実験の様子

既存棟耐震補強工法の施工手順

①事前調査
補強工法が適用できるかを調査します。

②L形補強金具
L形補強金具をビス固定します。

③棟土除去
冠瓦を外して、詰めてあった棟土を除去します。

④補強部材取付
補強金属版を乗せて、補強木材を棟木にビス固定します。

⑤冠瓦ビス固定
補強木材に既存の冠瓦をビス固定します。

⑥工事完了
スッキリとした外観に仕上がります。

pick up

瓦屋根にももちろん設置可能

太陽光発電と瓦屋根は、理想的な組合せ。

家は長く住むもの。家に取りつける太陽光発電も、20年、30年後を見据えて設置したいですよね。10年、15年で再塗装しなければいけない屋根材よりも塗り替え不要の瓦ならメンテナンスが楽になります。

屋根置きタイプ

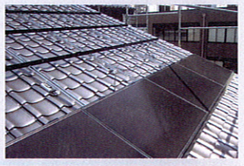
瓦屋根に太陽光パネルを設置する際、「屋根置きタイプ」と「屋根一体タイプ」があります。ここでは、ほとんどの屋根に設置可能な屋根置きタイプをご紹介します。

屋根置きタイプのメリット

メリットは、①発電効率が良い②大容量パネル設置ができる③メンテナンスが容易④乗せ換えが容易などです。また、いちばん日当りの良い南面の屋根に取り付けるため、真夏の瓦温度上昇を和らげてくれるというメリットもあります。

太陽光発電はメンテナンスフリー

太陽光発電システムは、設置さえすれば日頃のお手入れは基本的に不要です。万一トラブルが発生した場合は、屋根置きタイプなら修理やメンテナンスが容易です。



補助金を賢く有効活用しましょう。

太陽光で自家発電すれば、家計にやさしいだけではなく、地球温暖化対策に貢献することになるため補助金制度も用意されています。補助金を有効活用して賢くリフォームしましょう。

発電量と予算について

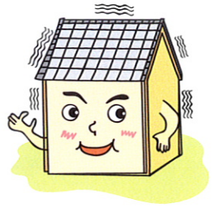
太陽光パネルが多いほど設置費用は高くなりますが、発電量はアップします。しかし設置する屋根の形や向きにより発電効率が変わってきます。ご自宅の状況に合わせた効率的な設置方法を検討しましょう。

Question & Answer

瓦の葺き替え、瓦の修理
気になること あれこれ

「瓦のプロがお答えします」

耐震・防災【Earthquake resistant・Disaster prevention】



ガイドライン工法で施工すれば地震も問題ありません

Q 屋根は軽い方がいいの？

A. 「屋根が重いと地震に弱い」という風評は大きな誤解です。建物は建築基準法に基づいて建てられるため、建物重量によって必要な壁量等が決められ耐震性が確保されます。つまり、屋根の重さによって耐震性が左右されることは無いんです。

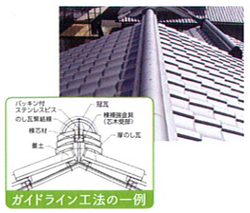
Q 瓦は地震に弱いってホント？

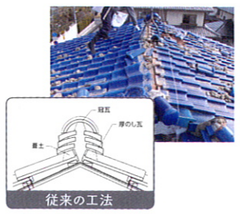
A. 業界で策定した「ガイドライン工法」で施工すれば震度7の地震でも、全く問題の無いことが数々の耐震実験で証明されています。さらに今出荷されている三州瓦のほとんどが「防災瓦」です。台風や地震などの自然災害に負けない屋根を提供します。

耐震改修【Seismic retrofitting】

Q ガイドライン工法って何？

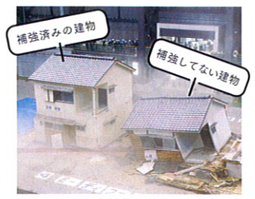
A. 平成13年8月に発行された『瓦屋根標準設計・施工ガイドライン』に基づいた業界の推奨工法です。これは地震や台風で瓦がずれたり落ちたりしないよう釘や金物で屋根の平部、棟部などを十分に固定する工法です。ガイドラインの発行以前は、桟瓦の留付けや棟部の施工などは地域の昔ながらの工法による施工が主流であったため、十分な強度を確保できないものもありました。



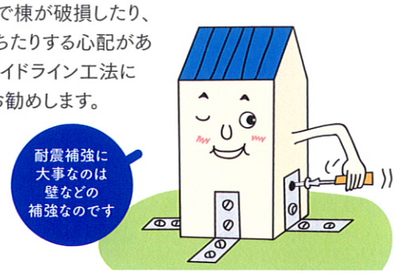


Q 瓦屋根の住宅ですが、どのような耐震改修をすればいいの？

A. 住宅の耐震性に最も重要なのは、なんといっても構造体です。壁の補強や追加、柱の接合部の金具補強など構造体を補強すれば家屋の倒壊の危険は回避できます。屋根を補修する必要はありません。ただし、昔ながらの工法で施工された屋根では巨大地震で棟が破損したり、瓦がずれ落ちたりする心配がありますのでガイドライン工法による補修をお勧めします。



震度7の実験で耐震性を証明！



耐震補強に大事なのは壁などの補強なのです

修理・メンテナンス【Repair・Maintenance】

Q 瓦って1枚だけでも交換できる？

塗り替え不要で一枚からでもOKです

A. はい、できます。交換可能は当たり前ですが1枚からでも交換できるのが瓦のいいところです。交換時間の目安は、数枚の交換で1～2時間程度（部位等により異なります。）の作業になります。

Q どのようなメンテナンスをすればいい？

A. 焼き物である瓦は、退色や素材の劣化はほとんどありません。このため施工した瓦屋根はメンテナンスフリーです。ただし、野地板、下葺き材などの屋根の下地や棟部のしっくいなどは定期的に点検し、必要なメンテナンスを行ってください。

耐久【Endurance】

Q 瓦は塗装しているの？変色するの？

A. 塗装はしていません。瓦には「陶器瓦」と「いぶし瓦」があります。陶器瓦はお茶碗等と同じ焼き物で、釉薬をかけ焼き締めて色を付けていますので塗装のように色落ちすることはありません。一方、いぶし瓦は焼成方法によって発色させています。表面の炭素被膜が年数と共に剥がれて黒っぽく変化して行きますが塗装の色落ちとは違い、色の変化が深い味わいになる伝統的な瓦です。

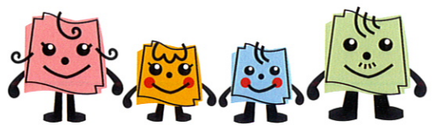
予算【Budget】

Q 葺き替え予算の目安はどれくらい？

A. 屋根材の種類や地域によって異なりますが、瓦の葺き代をはじめ以前の屋根の剥がし代や廃材処理費などを含め、屋根面積1㎡当たり1万3000円から2万円程が目途になります。（葺き替え費用は地域、施工方法、使用下地材等の違いにより異なりますので、詳しくは地元工事店でお見積りください。）

愛知県陶器瓦工業組合
公式ホームページにて見積試算ができます。
こちらのQRコードからホームページにお入り頂けます。
ぜひご利用ください。

その他【Other】



Q 悪質商法を行う業者を見抜くにはどうすればいいの？

全瓦連のマークが目印です

A. 屋根の葺き替え工事は技術が必要です。信用のある施工業者に依頼するのが安心です。悪質商法を行う業者は店舗を構えず営業しているケースが多々あります。地元に密着した工事店を選ぶのが良いでしょう。また信頼できる屋根工事店の目安として(一社)全日本瓦工事業連盟（全瓦連）加盟の工事店をご紹介します。

全瓦連HPの「加盟店の検索」から、お近くの工事店を探すことが出来ます。

検索！ 全瓦連

気になる方は「全瓦連加盟店」へご相談ください。
http://www.kawara.gr.jp/

全瓦連加盟店なら安心！